

飯館村体験博覧会
vol.3

こちらごめ、
おうせよ、
のぼりかた
のぼりかた

KOCHIRA
GO-GOME,
OUTOUSEYO!



特設 Web サイト公開! ~村を楽しむ 14 のプログラム~

2024 10.5 sat → 2025 3.2 sun

2024 年 10 月 1 日 (火) 午後 1 時より受付開始 (事前申込み制)

主催 一般財団法人飯館までい文化事業団
共同企画 福島大学行政政策学類 大黒ゼミ

「こちらら5合目、 応答せよ！」 までいな山の登りかた

山間の高原に広がる美しい村、飯館。時に厳しい高地の自然と向き合い、村民同士が支え合うことを当たり前に、人々は「までい」な暮らしを育み、自らの目指す村づくりに励んできました。そんな村を東日本大震災が襲ったのは13年前のこと。原発事故の影響で、これまで紡いできた暮らしを置き去りに、全村避難を余儀なくされました。それでも、それまでの暮らしやまでいな村づくりへの想いがゼロになっただけではありません。

全村避難が始まろうとしていたそのとき、ある村民がこう話していました。

——「村づくりは8合目、9合目まで来ていたんだ。放射能汚染や避難があったって、これまで積み重ねてきたものはゼロになりはしない。5合目からの再出発だ」

これまでの村づくりの理念、それを支えた人々、村の伝統や手業。

村が決して失わなかったものから始め、復興の高みに向けて歩み続ける人たちがいます。みなさんにも、私たちと一緒にこの「までい」な山に登ってほしい。

村民、移住者、村に関わる大学生。

それぞれが考える「飯館村の暮らし」を体験できるプログラムを用意しました。復興までの山の登り方はひとそれぞれ。

村の人もそうでない人も。若い人も、人生を積み重ねた人も。ゆっくりしたり、寄り道したり。丁寧な、時にはかっこよく。

「こちらら5合目、応答せよ！」

——やまびこの声にこたえながら、楽しく山を登ってください。

一般財団法人 飯館までい文化事業団

福島大学行政政策学類 大黒ゼミ

《こちらら5合目、応答せよ！——までいな山の登りかた参加規約》

1 事前予約

○参加には、事前の申込みが必要です。

○申込み後、主催者から予約確定の連絡をします。2、3日経っても予約確定の連絡がない場合は、各ワークショップの問い合わせ先に連絡してください。

○申込み締切日前に定員に達したプログラムについては、申込みを締め切ります。

2 自己責任

○運営事務局は、各プログラムにおける怪我や病気、事故などについて一切の責任を負いません。

3 プログラム主催者の指示など

○プログラム主催者及び《こちらら5合目、応答せよ！——までいな山の登りかた》運営事務局の指示・注意事項に従ってください。

4 料金及び参加規約

○料金は大人も子どもも全て一律です。

○小学生以下の方は必ず保護者同伴で参加してください。

5 プログラムの中止及びコースの変更

○当日の天候や感染症の蔓延状況等により、プログラムの中止、もしくは内容を変更する場合があります。

※プログラムを中止するときは、主催者より参加者に連絡します。

6 服装、持ち物

○各プログラムに適した服装でお越しください。

※万が一に備えて、健康保険証のコピーをご用意ください。

7 飲食

○食材アレルギーがある方は、申込み時及び当日に、スタッフに申し出てください。

8 キャンセル

○やむを得ずキャンセルする場合は、必ず前日までに各プログラム主催者へ連絡してください。

もくじ

- 参加の手引き……………3
- プログラム……………3
- 1 それは歴史をたどる道。
塩の道ウォークラリー第2弾……………4
長泥植樹祭記念
- 2 170名の観客コミュニティセンターの大舞台で歌う大スターになろう！……………4
アート作品をつくって村を美術館にしよう！
- 3 パンクシーのフリップボード……………5
飯館の米を「酒まんじゅう」に出世させよう！
- 4 「酒まんじゅう」であまーい村づくり……………5
縄もじり競争からかけっこまで
- 5 村民体育大会を福島大学生と一緒に復活させる！……………6
「どぶ漬け」があつてこそその飯館の夕食
- 6 いいいて村の村民食堂「二汁一菜膳」を作り、その技を引き継ごう！……………6
希望のタネを描いて食べよう！
- 7 イイタネちゃんアイシングクッキーづくり……………7
冬虫夏草の村、飯館村
- 8 漢方の考え方、食べ方を生活に取り入れよう……………7
村のお母さんと一緒に楽しもう！
- 9 古布やテープを使ったまδειな布ぞりづくり……………8
亡くなった大切な家族や仲間たちを送るための時間
- 10 飯館村のお葬式を記録する……………8
「あぶくまもちーぬ」と「バイナッフルケーキ」
- 11 日台お土産スイーツ交流……………9
チャレンジプログラム募集……………9
- 12 あぶくま連携④ 古殿杉の組手什を使った家具作り体験……………10
あぶくま連携② 伝説の「さつま凍み餅」を作る……………10
- 14 プログラムカレンダー・MAP……………11

参加の手引き

- ① 参加したいプログラムを見つけたら、各プログラム指定の申込み方法で応募する。

【お申込みの注意事項】

○受付は先着順です。お申込み後、事務局・主催者からの返信をもって参加決定となります。
○受付開始日は大変混み合うことが予想されます。あらかじめご了承ください。

- ② やむを得ずプログラムに参加できなくなった場合は、早めに、各プログラムに記載してある申込先までご連絡ください。

- ③ 参加費はプログラム開催当日に現金でお支払いください。
※集合場所へは20分前までにお越しいただけると受付がスムーズです！

受付開始

令和6年

10月1日(月) 午後1時～

事前のお申し込みが必要です。

申し込み・お問い合わせ

こちら5合目、応答せよ！運営事務局（一般財団法人飯館までい文化事業団内）

電話 080-6027-7655【平日】午前9時～午後5時

特設 Web サイト →

メール tarotaro@furusato-bunka.jp

<https://furusato-bunka.jp/5gome/>





案内する人
佐藤 俊雄さん
飯館村役場に42年勤めた歴史愛好家。歴史好きの原点は小学4年生まで遡ります。当時、飯館村飯館地区の近くの開墾田から土器が出土し、佐藤少年の心は大いに揺さぶられたのでした。現在は、村で文化財・社寺仏閣のお話になると必ずお声がかかるお方です。



2024
10/5 (土) 9:00-14:00

場 所：飯館村防災センター (旧飯館小学校)
定 員：10名
参加費：300円※お昼はえびす庵にていただきます。各自お昼代をお持ちください！
備 考：約8キロ歩きます。運動に適した格好でお越しください。飲み物などはご準備ください。

- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは10月3日(木)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当：曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

予約フォーム



それは歴史をたどる道。
塩の道ウォークラリー第2弾
塩や海産物を内陸に運ぶために使われた道、塩の道。浜通りと中通りをつなぐ飯館村にもこの道は存在します。生活にかかせない道だからこそ、多くの歴史があり、それを垣間見れる文化財が多く残っているものです。そんな道を地域の文化財に詳しい方のガイド付きで散策します。
参加者には道のみが描かれたマップを配布。ガイドの方のお話を聞きながらメモをとり、マップを完成させましょう！
当日は関沢から飯館町まで歩きます。



宮川 蒼平さん



中野渡 陸さん



案内する人
福島大学行政政策学類 大巻 尊三
中野渡 陸さん
宮川 蒼平さん
長泥のみなさんの「速くから来てくれる仲間たちを飯館の『食』でおもてなししたい!」との思いを受けて、村民食堂を運営する私たちが「飯館の日常食」を用意します。長泥の歴史を知り、長泥を楽しむ時間を、一緒に作りましょう!

2024
10/13 (日) 10:00-15:00

時間：10時(植樹祭)、11時30分(交流食卓)、その後カラオケ大会、14時(閉会)
場 所：飯館村長泥コミュニティセンター
参加費：無料

予約フォーム



- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・歌いたい曲についてご記載ください。
※申込み締め切りは10月10日(木)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当：曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

長泥植樹祭記念大カラオケ大会
170名の観客、
コミュニティセンターの
大舞台で歌う大スター
になろう!
長泥地区のみなさんと全国の長泥フレンズのみなさんが年に1度集まる長泥植樹祭。今年は、植樹祭、交流会に続いて、大カラオケ大会が開催されます。ステージ付きの大舞台で、170名の参加者を観客にして、青空の下、大音響で気持ちよく歌うチャンスを見逃すな!令和生まれの井沢八郎や、昭和生まれのテイラー・スウィフト、男性の島倉千代子から女性の米津玄師まで、なんでもありの歌と長泥を楽しむ2時間です。歌いたい曲とともに応募してください!



案内する人
フライデースクリーンさん
2015年「FRIDAY SCREEN」活動開始。地域に密着したプロダクトやグラフィック動画やアニメーションといったデザインの仕事のほか、ワークショップイベントなどの企画運営、また、福島県の山一というシリーズで福島県内の山をモチーフにしたTシャツやバッグを製作・販売している。



2024

11/2(土) 10:30-12:00

場 所: まいでいな家 (相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1) *飯館村役場の隣

定 員: 10名

参加費: 500円

- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは10月30日(水)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。

予約フォーム



- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当: 曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

アート作品をつくって
村を美術館にしよう!
バンクシーのフリップボード
言葉のアートで飯館村の未来を描こう! 飯館村の歴史と震災、避難、そして再び歩み始めた村づくりの道。あなたが描く未来の飯館村と今の飯館村。感じることや伝えたいことはありますか? 街中の日常生活の中に突然現れて、その街の未来を人々が考え、行動するきっかけを作ろうとする謎の芸術家バンクシーのように、あなたも村にアートを出現させましょう。
デザイナーと一緒に言葉のアート作品です。誰でもご参加できます。



案内する人
氣まぐれ茶屋ちえこ
佐々木 千栄子さん
平成16年に、飯館村で採れる山菜や凍み餅、漬物などを提供する地産地消の農家レストラン「氣まぐれ茶屋ちえこ」をオープン。翌年には飯館村が福島県内初となる「どぶろく特区」指定を受けたのを機に、オリジナルのどぶろく製造・販売を開始。震災による避難を経験しましたが、村内佐須でのレストランを復活させました。



2024

11/15(金) 10:30-13:00

場 所: 氣まぐれ茶屋ちえこ

参加費: 2,500円

予約フォーム



- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは11月10日(日)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。

- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当: 曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

飯館の米を「酒まんじゅう」に出世させよう!
「酒まんじゅう」で
あまーい村づくり
日本の食文化を支えてきた米。米は、シンブルに炊飯して食べるだけではなく、手を加えることで、餅にも煎餅にもなります。さらに伝統の発酵の技を使えば、米は、糀を経由して甘酒や酒に、さらには酢にもなります。一粒の種から始まり、人の手が加わることで、様々に出世する「米」。昨年度は、飯館の地に根差した酒造りにこだわる「どぶちえ」さんのどぶろくと飯館の米を使って、ピザを作りました。今年のワークショップでは、新たに酒まんじゅうを試作してみます。飯館の米↓糀↓酒↓飯館の酒まんじゅう。かつては日本のどこにもあつた酒まんじゅうを、みんなで楽しく作ってみましょう!



鈴木 秀真さん



藤原 大和さん



案内する人
 福島大学行政政策学類 大黒ゼミ
 藤原 大和さん
 鈴木 秀真さん

福島大学行政政策学類 大黒ゼミでは、みんなに読まれる飯館村史『おらほの村の自分史—まていな村のつくり方』を制作しています。村の歴史になくてはならないテーマを選び、広報紙を読み込んだり、飯館村にインタビューしながら、村の歴史をまていな村ができるまでを調査しています。

2024

11/16 (土) 13:10-15:00 雨天中止 (前日夕方にお知らせします!)

場所: 飯館村スポーツ公園 / 飯館村「まていな家」

定員: 20名

参加費: 無料

備考: 運動のしやすい服装でお越しください。タオルや飲み物などをご準備ください。

○お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。

※メールの場合は、氏名・電話番号・参加人数をご記載ください。

※申し込み締め切りは、11月10日(日)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

予約フォーム



縄もじり競争からかけっこまで
 村民体育大会を
 福島大学生と一緒に
 復活させる!

飯館村の村民体育大会、長年続いてきた集落対抗の交流イベントは、多くの村民に愛されてきましたが、被災による避難で中断、その後復活できていません。競技は若い人からお年寄りまでみんなが楽しめるものばかり。村民体育大会の再開はこれからでも、長年の歴史のなかで村民を楽しませてきた競技のいくつかを復活させ、福島大学生と一緒に、「おらほの村の運動会」を楽しんでみませんか! 小学生からお年寄りまで、楽しく参加できるプログラムを用意しています。



高橋 トク子さん



山本 京平さん



宮川 蒼平さん

案内する人
 「いたて村の村民食堂」
 福島大学行政政策学類 大黒ゼミ
 宮川 蒼平さん
 山本 京平さん
 高橋 トク子さん

ふるさと飯館なでしこ館
 村民食堂は、飯館村の村民と福島大学行政政策学類生が共同で企画運営する月1回開催の食堂です。飯館村で昔から食べられてきた日常食を気軽に楽しめ、故郷や世代を超えた交流の場になることを目指しています。今回は、キムチをはじめとする村の漬物づくりの名人、高橋トク子さんと学生2人でワークショップを運営していただきます。



2024

12/7 (土) 10:30-12:00

場所: まていな家 (相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1) *飯館村役場の隣

参加費: 1,000円 (5名まで)

予約フォーム



○お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。

※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。

※申し込み締め切りは12月4日(水)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

「どぶ漬け」があつてこそこの飯館の夕食
 いいたて村の村民食堂
 「二汁一菜膳」を作り、
 その技を引き継ごう!

2019年から福島大学行政政策学類の大黒ゼミが小さく始めた「いたて村の村民食堂」。飯館村民と福島大学生の共同プロジェクトです。2024年度は、月1回の定例開催に加え、来年度30年目を迎える阪神淡路大震災の被災地である兵庫県や、震災後に福島に心を寄せてくれた台湾・台北でも、飯館村の今と食の伝統を伝えていきます。唯一のメニューである「一汁一菜膳のメインは、村の方が作る」2種おこわ」と「漬物」です。このワークショップでは、山菜おこわの作り方と村にはなくてはならない漬物「どぶ漬け」を作ります。村の日常の味を次世代に伝えることを目的とする「村民食堂」。みなさんにその技を引き継いでいただくことを目指したワークショップです。



案内する人
佐藤 真奈美さん
飯館村の塩の道沿いにある団子
茶屋跡のご縁で案内人にご参加
くださいました。飯館村出身の
気まぐれケーキ屋 さんです。

2024

12/26(木) 10:00-11:00

場 所: まいでいな家 (相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1) *飯館村役場の隣

駐車場: あり

定 員: 10名

参加費: 1,000円

備 考: エプロン、三角巾などお持ちください。

○お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。

※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。

※申込み締め切りは12月11日(水)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

予約フォーム



希望のタネを描いて食べよう!

イイタネちゃん

アイシングクッキーづくり

飯館村オリジナルキャラクター、イイタネちゃん。飯館村とつながっている、小さな小さなヒミツの姉妹都市「イイタネ村」で生まれた植物の妖精です。そんなイイタネちゃんを米粉のクッキーにアイシングで描きます。イイタネちゃん型クッキーは事前にご用意しています。お子さんのご参加も大歓迎です!



案内する人
港屋漢方薬局
貝津 好孝さん
貝津 有岳さん
平野 小みちさん
はり・きゅう・カシエット
伊達市梁川町で小さな蔵のなかから
始まった漢方専門のお店、港屋漢方
薬局さん。40年以上にわたり、ご
自身で守る山から得られ、また栽培
される和漢の薬草を使って、おいし
く、やさしく人々の健康に寄り添い
続けて来ています。平野さんは、
世界中を旅した後に飯館に鍼灸院を
構え、その技で患者さんを丁寧に癒
してくれます。今回は、漢方を知る
地域に根差した3名の方々のコラボ
をお願いします。

2025

1/21(火) 14:00-15:30

場 所: まいでいな家 (相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1) *飯館村役場の隣

定 員: 15名

参加費: 3,500円

○お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。

※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。

※申込み締め切りは1月13日(月・祝)となります。

※事務局からの返信をもって参加確定となります。

○お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

予約フォーム



冬虫夏草の村、飯館村

漢方の考え方、食べ方を

生活に取り入れよう

飯館村は全国的、また世界的に見ても、漢方の生薬や薬膳料理に使われる貴重な冬虫夏草の宝庫です。この村で生活するのに、身近にある冬虫夏草をはじめとする漢方薬草や薬膳料理、そして東洋医学の実践として日本でも長い歴史を持つ鍼灸の考え方を取り入れるのは、理にかなっているのではないのでしょうか。このワークショップでは、村で採れる冬虫夏草や薬草の話聞き、寒い冬を乗り切るための薬膳料理であるサムゲタンを作るための薬草キットをみんなで作ります。そして最後に、希望される方には鍼灸の技を実際に体験していただく時間もあります。飯館の冬虫夏草を頼りに、もう一度ご自身の体と健康のことを考えてみませんか?



案内する人
飯館村大久保地区の
お母さん
手仕事大好きな飯館村のお母さん。今回は「先生ではなく、一緒につくってくれるお母さんとして登場してほしいです。」



2025
1/26 (日) 10:00-12:00

場 所：まていな家（相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1）＊飯館村役場の隣
駐車場：あり
定 員：10名
参加費：1,000円
備 考：使いたい布などがございましたら、ぜひお持ちください。

- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは1月19日（日）となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館まてい文化事業団（担当：曾田）
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

予約フォーム



村のお母さんと一緒に楽しもう！
古布やテープを使った
まていな布ぞうりづくり
震災前から「まていな暮らし」をコンセプトに村づくりをしてきた飯館村。「まてい」とは「丁寧」「手間暇惜しまず」「心を込めて」といった意味の方言で、高原の厳しい環境だからこそ大切にされてきた言葉です。農業ができない厳しい冬には、まていに手仕事を行うお母さんたちが多いそう。
今回は、布やテープなどの材料でぞうりづくりです。飯館村の大久保地区のお母さんたちと一緒に作りましょう。



案内する人
飯館村のおばあちゃん・おじいちゃん
いつも昔のことを優しく教えてくださる村の方々。お葬式のことを覚えているおじいちゃんおばあちゃんにお話を伺えます。

2025
2/8 (土) 13:10-14:30

場 所：まていな家（相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1）＊飯館村役場の隣
定 員：15名まで
参加費：無料

- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは2月2日（日）となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館まてい文化事業団（担当：曾田）
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

予約フォーム



亡くなった大切な家族や仲間たちを送るための時間
飯館村のお葬式を記録する
震災前まで、「土葬」で亡くなった村民を送る伝統を守ってきた飯館村。それぞれの人生のなかでも過ごした家族や親族、集落の仲間たちは、多くの時間をかけ協力し合いながら、伝統ののちとつて、亡くなった仲間を弔いました。原発事故後の避難によって土葬の伝統が失われつつある今、村で多くの時間を過ごした仲間を送るお葬式の進め方、一つの所作や食事、集落の協力のあり方などをお聞きするとともに、それぞれに込められた意味を学び、記録します。



大黒 太郎さん



田中 久美子さん



案内する人
 村カフエ753
 田中 久美子さん
 台湾キッチン TAROTARO
 (福島大学行政学系 大黒 太郎さん)
 大黒 太郎さん

村カフエ753で飯館の果物や野菜を使ったオリジナルベーグルを作って販売するのがお仕事の田中さんは、村や村の人たちが大好きで、いつも誰かのお手伝いをしています。村の農産物を使うにはどうしたらいいか、いつもアイデアを出し、みんなに相談しながら、それを形にしていきます。いつも楽しんでます。

2025

3/2 (日) 13:10-15:00

場 所: 飯館村交流センター「ふれ愛館」キッチンスタジオ

定 員: 5名

参加費: 1,000円

予約フォーム



- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
 ※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
 ※申込み締め切りは2月25日(火)となります。
 ※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当: 曾田)
 TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp

『アプクマモチ』を
 村の定番お土産に!
 日台お土産スイーツ交流

台湾土産の定番であるパイナップルケーキが、飯館村で作られ、販売されていることに驚かれる方がたくさんいます。福島大学生と台湾の大学生との交流の中から、「飯館村のパイナップルケーキ」は生まれました。今度は、私たちが「飯館村土産の定番」といわれるものを作り出し、台湾にお伝えする番です。このワークショップでは、震災によって栽培が中断され、2021年に県内唯一、飯館村で栽培が再開された福島県期待のもち米品種「あぶくまもち」の米粉をベースに、飯館村産ナツハゼやイチゴを使ったもちっりパウンドケーキ「アプクマモチ」を試作します。当日は、アプクマモチとパイナップルケーキという日台お土産スイーツを食べ比べましょう! お土産もあります。



募集中 / チャレンジプログラム

お申込み

一般財団法人 飯館までい文化事業団(担当: 曾田)

TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



案内する人
古殿町役場産業振興課林政保
齋藤 洋介さん



2024
12/21 (土) 13:30-15:00

場 所：まていな家 (相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1) *飯館村役場の隣
定 員：10名
参加費：無料
注意事項
・当日は汚れても良い格好でご来場ください。
・安全のため軍手の着用をお願いいたします。
・「ワインラック」または「パンフレットラック」のどちらかを選択の上、
製作いただきます。申込時にお知らせください。

予約フォーム



- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は、氏名・電話番号と「ワインラック」と「パンフレットラック」のどちらを選択するかをご記載ください。
※申込み締め切りは12月6日(金)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当:曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



あぶくま連携ワークショップ①

古殿杉の組手什を使った家具作り体験

組手什(くぢゅう)の「組手くで」とは、建具や指物の職人さんが使う職人ことばで、建具を組み立てるときの切り込みを指し、「什(じゅう)」は日常生活で使用する器具や家具を指す「什器」のことです。組手什とは、間伐で出る細い材や、製材所で発生する端材等を共通規格で加工し、誰でもノギリ一本でサイズを調整して組合わせることで、棚や机、椅子などアイデア次第で色々なものが作れる木製キットです。クギや接着剤を使わないので、何度でも組み直しが可能です。

古殿町では身近に木材が使われる環境を作ろうと、平成26年度から古殿町産材のスギ(古殿杉)での組手什を生産し、公共施設等で使用してきました。このワークショップでは、組み立て方は木材の組手同士をはめ込むだけ。古殿町産材を使用した組手什で、自分だけのオリジナル家具を一緒に作りましょう！

あぶくま連携 シリーズ

飯館村の伝統や文化を育んだ阿武隈高地——阿武隈高地は福島県を中心に、宮城県から茨城県まで南北170キロにもわたる山間地です。今年の「こちら5合目、応答せよー」では、教え、学び合う仲間としての阿武隈各地の人々との関係を深めたいと願っています。

今年は古殿町で行なわれている体験博覧会「フルドノタイム」



案内する人
ふるさと工房おざわふぁーむ
小澤 啓子さん



2025
2/11 (火・祝) 13:10-15:00

場 所：まていな家 (相馬郡飯館村伊丹沢伊丹沢 578-1) *飯館村役場の隣
定 員：8名
参加費 (材料費込み)：おひとり 3,000円
備 考：エプロンと、バットまたはタッパー (目安サイズ：約15×20×5cm) をお持ちください。



予約フォーム

- お申込み 予約フォーム、または下記お問合せから。
※メールの場合は氏名・電話番号・参加人数をご記入ください。
※申込み締め切りは2月3日(月)となります。
※事務局からの返信をもって参加確定となります。
- お問合せ 一般財団法人 飯館までい文化事業団 (担当:曾田)
TEL: 080-6027-7655 MAIL: tarotaro@furusato-bunka.jp



あぶくま連携ワークショップ②

伝説の「さつま凍み餅」を作る

飯館村を含む阿武隈高地は南北に170キロもの広がりがありますが、冬の乾燥した寒さや気候条件を活かした「凍み餅」づくりなど、食文化には多くの共通点があります。その第2弾は、「さつま凍み餅」づくり。阿武隈高地南部では、サツマイモを使った「凍み餅」が作られています。サツマイモに麦芽を混ぜて糖化させ、それを凍み餅にするという離れ業。今回は、古殿町で農作物を作りながら凍み餅などの農産加工品や農泊を営む郷土食研究所「ふるさと工房おざわふぁーむ」の小澤啓子さんをお招きして、「さつま凍み餅」の作り方を学びます。

案内人のご協力で、2つのワークショップを飯館村内で開催します。(https://fundonotime.net/) まずは、阿武隈高地共通の「凍み文化」のひとつであるさつまいもを使った「さつま凍み餅」づくり。そして、阿武隈の山々の木材を活かした組手什による家具作り。古殿の貴重な手業を私たちに手渡してくれるワークショップにぜひご参加ください！

2024



マップ プログラムカレンダーと



12			11			10	
26 (木)	21 (土)	7 (土)	16 (土)	15 (金)	2 (土)	13 (日)	5 (土)
7 アイシングクッキーづくり 10:00	13 組手什 13:30 あぶくま連携①	6 どぶ漬け 10:30	5 村民体育大会 13:10	4 酒まんじゅう 10:30	3 フリップボード 10:30	2 長泥交流会 10:00	1 塩の道 9:00



2025

3		2		1	
2 (日)	11 (火・祝)	8 (土)	26 (日)	21 (火)	
8 スイーツ交流 13:10	14 さつま凍み餅 13:10 あぶくま連携②	8 お葬式 13:10	9 布ぞうり 10:00	8 漢方 14:00	



日時と場所を
ご確認ください

IITATE Village

飯館村は、福島県阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた美しい村です。
 総面積 230.13 キロ平方メートルの約 75% を山林が占める地形は比較的なだらかで、北に真野川、
 中央に新田川と飯樋川、南部に比曽川が流れ、その流域に耕地が開かれ集落を形成しています。
 年平均気温は約 10 度、年間降水量 1,300mm 前後で高原地帯独特の冷涼な気候にあります。
 2010 年 10 月には「日本でもっとも美しい村」連合の加盟を果たしました。

＼お問合せ／

こちら5合目、応答せよ！～までいな山の登りかた～

運営事務局（一般財団法人飯館までい文化事業団内）

〒960-1106

福島県福島市下鳥渡扇田 30 番地の 3

TEL 080-6027-7655 【平日 9:00-17:00】

MAIL tarotaro@furusato-bunka.jp

特設サイト <https://furusato-bunka.jp/5gome/>

